

第13回日本小児医療政策研究会 市民公開講座

少子化社会に生きる子どもの健やかな育ちを支える
～子どもと家族への支援につなげるために～

日時：平成29年3月11日（土） 13:00～18:00

場所：東京慈恵会医科大学 大学1号館3階講堂（東京都港区西新橋3-25-8）

参加費：無料（どなたでも参加できます）



13:00～13:10 開会の挨拶

武田淳子（第13回日本小児医療政策研究会 大会長、日本小児看護学会理事長、宮城大学看護学部）

高橋孝雄（日本小児科学会 会長、慶應義塾大学医学部小児科教授）

衛藤義勝（日本小児医療政策研究会 代表幹事、東京慈恵会医科大学名誉教授）

13:10～13:40 ■特別講演1■ 座長：衛藤義勝（日本小児医療政策研究会 代表幹事）

新世代の小児科学の使命について

高橋孝雄（日本小児科学会 会長、慶應義塾大学医学部小児科教授）

13:40～14:10 ■特別講演2■ 座長：高橋孝雄（日本小児科学会 会長、慶應義塾大学医学部小児科教授）

少子化時代の子育ての現状と政策（仮）

神ノ田昌博（厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課課長）

14:10～14:40 ■教育講演■ 座長：武田淳子（宮城大学看護学部）

子どもの健やかな育ちを支えるこころのケア（仮）

奥山真紀子（国立成育医療研究センター副院長、こころの診療部部长）

14:40～16:40 ■シンポジウムI：虐待への対応 地域と医療の現場から■

座長：奥山真紀子（国立成育医療研究センター副院長、こころの診療部部长）

日沼 千尋（日本小児看護学会副理事長、東京女子医科大学看護学部）

脳外科医から見た虐待

荒木 尚（日本医科大学附属病院救命救急科）

院内虐待対策チームの活動と課題

木下あゆみ（四国こどもおとなの医療センター小児科）

小児救急外来における養育支援

大島 誠（総合病院国保旭中央病院小児救急看護認定看護師）

福祉の現場から

小林幸恵（横須賀市こども育成部児童相談所保健師）

親の生活を支える

周 燕飛（独立行政法人労働政策研究・研修機構主任研究員）

16:40～17:50 ■シンポジウムII：在宅における支援■

座長：田中総一郎（医療法人財団はるたか会あおぞら診療所ほっこり仙台院長）

濱中 喜代（岩手保健医療大学準備室長）

小児慢性特定疾病の子どもの現状と今後の課題

盛一享徳（国立成育医療研究センター臨床研究開発センター）

小児在宅医療への支援

梶原厚子（医療法人財団はるたか会 NPO 法人あおぞらネット理事）

短期滞在施設『もみじの家』での試み

阪井裕一（もみじの家／埼玉医科大学教授）

家族の立場から

吉竹琴水

17:50～ 総括

日沼千尋（東京女子医科大学教授）

衛藤義勝（日本小児医療政策研究会 代表幹事）

閉会の辞

武田淳子（第13回日本小児医療政策研究会 大会長）



主催：日本小児医療政策研究会 & 日本小児看護学会

共催（予定）：日本小児科学会、日本小児科医会、日本小児保健協会、日本小児外科学会、

後援：厚生労働省、こども難病ネットワーク、NPO 法人日本小児医療政策研究センター